

# 全難聴女性部だより 第46号

令和3年8月22日発行 発行人：加藤千津子 編集：事務局



## 残暑お見舞い申し上げます

部長 加藤 千津子

皆様には、お変わりなくお過ごしのことと存じます。いつも、全難聴女性部にご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

先日、県部長会議・総会を初めてオンラインで行いました。その折ご出席いただきました県部長には、お忙しい中、重ねてお礼申し上げます。今回の県部長会議・総会をどのような形で行うか、役員で話し合う中、昨年と同じ書面表決及び委任状で行う案もありました。

しかしながら、コロナ禍とは言え2年続けての書面表決、委任状では、皆様に申し訳ない、他に方法はないか、いろいろ考え出した結論がオンラインZoomで出席していただく方法でした。

また、Zoomでの出席には、オンライン環境の無い部員の皆様には公平ではなく、ご不満もあるかと思いますが、何卒こういった経緯でオンライン県部長会議・総会になりましたこと、ご理解いただきたくお願いいたします。

この、Zoomでの計画は、役員でもあります京都府の片山事務次長のご尽力と京都府中途失聴・難聴者協会の滝野会長のご理解、ご支援により、また、情報保障は、京都のパソコン要約筆記者の皆様、記録は、全要研茨城支部が担当していただきました。このように多くの方のサポートで開催の運びとなりましたこと、ここにご報告させていただきます。

さて、全難聴女性部も役員のみ手が無く、退任したくも後任が見つからず長期に渡り役員をされている方が多くなりました。地域においても同じような状況とお察しします。女性部から窓口になられた県は、部長の後任が無く窓口に変更する所も多くなっています。

原因の一つとして、会員の高齢化、若い人の入会が無い現状で女性部の弱体化が懸念材料となりつつあります。

全難聴女性部の目的は、親睦、交流、一人ぼっちの難聴者に手を差し延べ一人ぼっちの難聴者のない社会を。そして、情報交換の目的で1989年に設立しました。

32年の長い歴史があります。32年の間には厳しい時代もあったでしょうが、諸先輩方の英知で乗り越え受け継がれ今があります。私たち役員はこれを次世代に受け継ぐ責任を感じています。

昨年、今年とコロナ禍が続く中、以前の生活や協会活動を取り戻すためにはまだ時間がかかりそうですが、収束した暁には、一度総会に出席してください。女性部は何方にも和気あいあいと楽しく気さくに語り合える環境を作っています。まずは、総会に出席してくださいませよう切にお願い申し上げます。そして、女性部を皆さんと共に盛り上げましょう！

# 令和3年度 役員会・県部長会議・総会 報告

令和3年度会議については、当初京都市で対面により行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため、取り止めました。役員会で会議にZ o o mを利用することを決め、5月24日（月）、Z o o mで三役会議を行い、日程等を話し合いました。

## ○6月25日 令和3年度役員会

出席：部長 加藤千津子、副部長 主藤京子、事務局長 佐藤緑、事務次長 片山ひろみ、  
会計 磯島都子、広報担当 庄司美絵、監事 塚本茂子、監事 高田郁代

欠席：相談役 永末淑子

### 報告

・令和3年度より変更になった地域

- ① 横浜市 女性部と企画例会部が統合して、レクリエーション部に。  
ただし、女性部としての予算もあり、全難聴女性部ではこれまで通り。
- ② 群馬県 部長渡辺澄江さんは、退任。部としての活動はなく、窓口。
- ③ 長野県 福祉部が休止になり、再び女性部として活動。(最終確認：7/17)

### 議題

- 1 令和2年度活動報告について  
内容確認。誤記述を修正し、総会資料に掲載する。
- 2 令和2年度決算報告について 内容確認。総会資料に掲載する。
- 3 令和3年度予算について  
バザー売上金が収入として計上されているが、予算書は福祉大会延期が決まる前の11月に全難聴に提出済みのため、修正不可。総会資料予算案の下に追記する。
- 4 役員改選について  
コロナ禍のため、現役員を再任する。任期は令和5年度総会まで。ただし、塚本茂子監事から退任の申し入れがあった。人選を進める。
- 5 県部長会、総会について  
役員も含めた県部長に総会案内を郵送。当初予定していた窓口、一般会員の傍聴は行わない。書面審議、委任状提出かZ o o mでリモート会議いずれかを選択する。質問状も郵送、質問方法は郵送、メール、ファックスで。(締切：7月7日)
- 6 だよりについて  
年2回発行。1月号は、編集時期を早めることも検討している。
- 7 次期会期と開催地
  - ・日時 令和4年7月1日（金）～2日（土）か8日（金）～9日（土）
  - ・場所 現在、信州難聴者協会理事長が長野県に打診中。



## 8 その他

- ・「部」と「窓口」の違い、今後の課題として役員会で違いを示す必要を確認した。活動報告書の提出など意見交換をした。
- ・議事録を部長が確認後、メーリングリストで意見交換する。
- ・広報担当より①ホームページリニューアル版は現在作成中。②『難聴者の明日』の依頼者探しに協力をしてほしい。

### ○7月18日(日) 令和3年度県部長会議

出席部長：7団体①東京都②京都府③茨城県④岐阜県⑤兵庫県⑥横浜市⑦大阪市

表決委任：3団体①奈良県②川崎市③福岡市

県部長以外の役員2名は、画面やマイクをミュートにしてオブザーバー

#### 議題

- 1 自己紹介
- 2 役員改選について 役員会と報告事項は同じ
- 3 次期会期と開催地(予定) 役員会報告事項と同じ。開催地の負担は軽減する。  
(補足) 人工内耳友の会総会や全難聴の総会が重なる6月は避けて欲しいという意見があり、7月にした。以前のように7月第2週を希望する声もある。
- 4 その他  
部と窓口の違いについて、意見交換をした。全難聴女性部として①女性部担当者が、地域の協会の一般会員でも部として認めること②他の部と統合していても、行事が出来れば女性部として認めること、2点を確認し、今後PRすることとした。意見交換では、昨今は全難聴も含めての活動が中途失聴者中心になり、生まれつきの難聴者がなんとなくついていけない現状になっているのでは、若い人の話を聞き入れるだけでも違ってくるのでは、地域の所属協会の決まり事もあるが、女性部存続のために一般会員からの部長を認めてもらうよう所属協会に働きかけては、という意見がみられた。

### ○7月18日(日) 令和3年度第32回通常総会

出席部長：7団体①東京都②京都府③茨城県④岐阜県⑤兵庫県⑥横浜市⑦大阪市

書面表決：3団体①奈良県②川崎市③福岡市

ほか全難聴女性部から県部長以外の出席役員2名(会計、監事)、欠席1名(相談役)

議長：主藤京子(副部長、横浜市部長)

第1号議案 令和2年度総括報告(案)賛成多数で承認された。

第2号議案 令和2年度決算報告(案)賛成多数で承認された。

第3号議案 令和2年度監査報告 監査の結果、決算報告が適正であると報告した。

第4号議案 令和3年度事業方針(案)

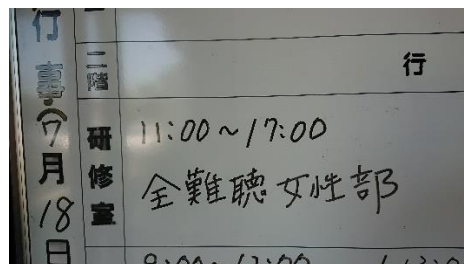
- ・活動方針案7番今年度より、女性部部长は全難聴理事となったため、(オブザーバー)を削除する。

第5号議案 令和3年度予算(案)コロナ禍で印刷・製本費が例年より多いが、事務

局長等役員の負担を軽減するため、かかった経費を請求するようにする。

第6号議案 役員体制（報告）下記の体制となる。

部 長	加藤 千津子	全体総括
副 部 長	主藤 京子	部長補佐
事務局長	佐藤 緑	事務全般
事務次長	片山 ひろみ	事務局長補佐
広報担当	庄司 美絵	広報全般
会計担当	磯島 都子	会計全般
監 事	高田 郁代	
相 談 役	永末 淑子	



茨城県立聴覚障害者福祉センター  
やすらぎ 玄関の予定表より。  
京都市、水戸市、各自の自宅がつながり、  
会議が行われました。

### その他

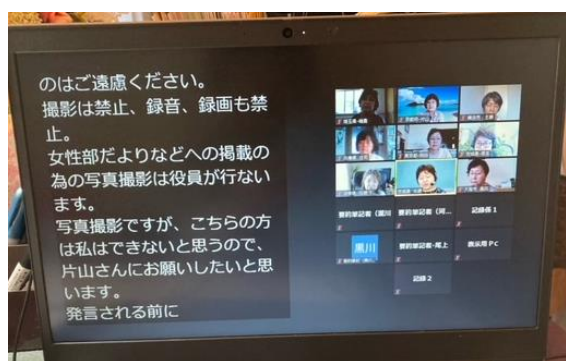
- ・コロナ禍で離れた家族に会えないこと、ワクチン接種などが話し合われた。
- ・塚本茂子さんより、全難聴女性部役員としての12年間は前向きで教えられることが多く貴重な時間だったとして退任のごあいさつをされた。他の役員からも、福祉大会や会議の思い出話などで、塚本さんに惜別の意を表した。
- ・「決算予算の左側にナンバリングを」とアドバイスがあり、今後の役員会で検討。  
(報告：事務局長 佐藤緑)

会議担当県から

## 『京都府で会議を担当して』

事務次長（京都府）片山ひろみ

コロナ禍の影響で、総会は今年度も又書面表決にならざるを得ないのかと気をもみましたが、今年度の世話役としてZoomならやれるのではと提案しました。



京都府は、コロナが世間に広がり出したところからオンラインに着目し始めました。地形が縦長ゆえ北部～南部まで離れているので、これまでから遠隔情報保障についても関心度が高く、コロナ禍で一気にこの希望に火がつき実現を目指してまっしぐらに進んできた経緯がありました。せっかく経験を積んできたZoomなのだから、ここで役立てなければという思いが強かったです。

県部長会議と総会に至るまでに、三役間での相談をcaptiOnlineで持ち、役員会は遠隔情報保障が叶い予行演習のようになりました。これなら行けるだろうとの手応えを感じての当日待ちとなりました。

人数としては多くなかったものの、他府県同士の集合でも全員入室でき予定通りに開始できたことで安堵感が広がりました。その後もスムーズな進行で、終了後に雑談を楽しむゆとりが持てたほどでしたし、オンライン会議の良さを改めて実感できた時でもありました。皆で協力し合った結果だと感謝しています。

今回のZoomによる県部長会議と総会が成功したことで、無論私だけの力ではありませんが、京都府が担当の時に役に立てたことを嬉しく思っています。



## 新役員からのごあいさつ



### ★部 長： 加藤 千津子(再任・岐阜県)

今期も引き続き部長を務めさせていただきます。よろしく  
お願いいたします。

コロナ禍が長期に渡り、活動もままならない状況ですが、今年度の県部長会  
議・総会を多数の方のサポートでオンライン開催できたこと。また「だより」  
を充実するため役員で工夫しお届けしたいと思っています。

その為には、皆様のご意見又は得意分野（お料理レシピ等）をお知らせく  
ださい。「だより」に反映したいと考えています。どんなことでも構いませんの  
でご意見、情報をお聞かせください。

### ★副 部 長： 主藤 京子(再任・横浜市)

全国的にワクチン接種が進んでいるなか、まだまだ収束がみえない状況で活  
動も不透明です。全難聴女性部も加藤さまが部長就任以来、部長としての責務  
や事務局との連携、役員への配慮と淡々と活動されている姿は凄いものがあり  
ます。私も役員2期目に突入ですが学ばせていただきながら部長をはじめ役員  
の皆さまと力を合わせて女性部を盛り上げていけるように頑張ります。皆さま、  
ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

### ★事務局長： 佐藤 緑(再任・茨城県)

前任の任期を引き継いだので、「再任」でも「事務局長」という肩書では一期  
目のようです。多くの皆様の優しさや経験の深さに助けられて参りました。今  
後ともよろしくお願い申し上げます。

### ★事務次長： 片山 ひろみ(再任・京都府)

私は事務次長を担ってから今年で6年目となります。この間、行き届いた事  
務局長の側で学ばせてもらったこと多しと感謝しています。

自身がすべき役目を通して、未知の世界も開けてきたことを実感中。

コロナ禍でじれったい思いも拭えない現状ですが、今年度は全難聴女性部初  
のZoomでの会議が実現しました。これを皮切りに、今後も機会あるごとに  
この方法で乗り切れたらとの気持ちを強くしています。

皆様と共に、歴史ある女性部の維持とより良い発展を目指して行きたくよろ  
しくお願いいたします。

## ★広報担当： 庄司 美絵(再任・兵庫県)

残暑お見舞い申し上げます🍉

コロナ禍がずっと続いて仲間と会えないまま、辛いことと存じます。

我が県女性部は、今年は初めてZ o o mで総会を開催しました。その前に、要約筆記者の協力で勉強会を開きました。まだ勉強が足りず何回もやる必要があると感じました。その腕を磨いて、全国の女性の皆さまとおしゃべりが出来たらと思っています。

「難聴者の明日」の女性部のページですが、寄稿者探しに苦勞しています。若い女性方も、仕事や子育てなど悩みがあれば、どうぞ言ってください。お待ちしております～♪

## ★会 計： 磯島 都子(再任・埼玉県)

これまで、毎年のように指摘を受けながら担当してきました。指摘は成長の因です。慣れっこですが、いつも初心に戻り神経をとがらせています。

まずは体力づくりに気合を入れて毎朝、保護犬のタロー君と田んぼの土手を歩きながらのジョギング散歩約40分（綱を外して）。

舗装よりも土の方が足にやさしいのですよ～。あ～あ、田舎はいいなあ～空気が美味し～い😊。役員の中では最古参ですが喜んでお引き受けさせていただきます。



## ★監 事： 高田 郁代(再任・大阪市)

全難聴女性部の役員を務めるのは4期目となります。はじめの2期は監査でしたが3期目からは監事と名称が変更されるにともない、役目も重いものとなりました。6年間頼りにしてきた塚本さんが退任されて、今期はしばらく1人で監事を担うこととなります。気を引き締めて役目を果たしていく所存ですが、至らないところはお指摘をよろしくお願いいたします。

## ★相 談 役： 永末 淑子(再任・福岡市)

女性部役員の皆様方には、加藤部長を先頭に、しっかりと運営と活動をされています。「全難聴福祉大会 i n おんせん県おおいた」は、全国にコロナウイルス・変異ウイルス感染拡大のために延期になりました。女性部バザーが開けないのは、会計収入の面で影響があり残念に思います。でも各女性部は、活発に手をつないで元気です。皆様の頑張りを大いに期待しています！

## 退任役員のあいさつ



### ★監 事:塚本 茂子(茨城県)

この度第32回定期総会にて、役員を退任しました。長引くコロナ禍に昨年の総会は書面決議に、今年はオンライン会議となり、画面越しではありましたが、最後に役員の皆様とお顔を会わせる事が出来たことを嬉しく思いました。

私が全難聴女性部にに関わりを持つようになったのは、平成21年の最後となった全国難聴女性研究大会後(宇都宮市)からでした。また県協会の役員改選が有り8年務めた県部長を降りたのもこの時期でした。最後だからと初めて全難聴女性部県部長会議に出席しました。県部長を降りたのだから、役員に選ばれることは無いと思ったのですが、この年の規約改正で、県部長でなくとも役員に選出されることになってしまい、微力ながら事務次長を1期、平成23年からは監査(監事)を5期、役員の皆様にご協力いただきながら足かけ12年を務めさせていただきました。(令和元年に監査から監事への名称変更がありました。)

年に一度の福祉大会のバザー販売や分科会、全国各地で開催された女性部会議などで共に語り合い笑い合ったことや、会議終了後の地元の女性部との交流や観光などは、役員でなければ体験できないことであり、掛け替えのない思い出となりました。

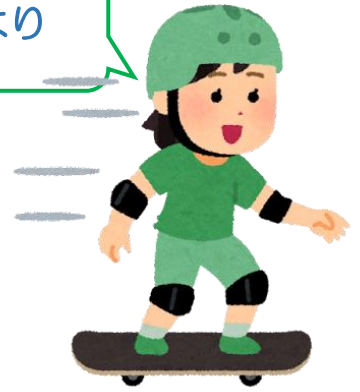
全難聴女性部は決して堅苦しい雰囲気ではなく、和気あいあいとして難聴女性の福祉向上を目指して手を携え合って歩んでいます。

今、私の手元には紛失してしまった物もありますが、ずしりと重みを成して分厚いファイルに収まった42冊の「全難聴女性部だより」があります。継続されてきた32年の歴史の重みです。歴代の部長、副部長、役員の言葉を読み返しながら、難聴女性のために活動されてきた皆様に尊敬と感謝の気持ちを、そしてこの組織に関わりを持てたことを誇りに思います。

今後の全難聴女性部活動の発展と活躍を、また役員の皆様のご健康を祈って私の退任の挨拶といたします。ありがとうございました。

1、女性「部」が現在ない加盟協会の皆様、窓口の皆様

事務局だより



今年の県部長会議で話し合った結果、  
下記2点を確認しました。

- ① 女性部担当者が、地域の協会の一般会員でも部として認めること
- ② 他の専門部と統合していても、行事が出来れば女性部として認めること

詳細は、事務局までご連絡ください。役員会でも相談します。

**ぜひ、女性部に加盟してください。一緒に、楽しく活動しませんか！**

2、『全難聴女性部だより』新年号について

**新年のご挨拶について、窓口の皆様にも原稿執筆をお願い申し上げます。  
内容は、新年のご挨拶、近況報告など、簡単な内容です。**

**(写真、イラスト添付歓迎)**

詳細は各ブロックの長や事務局担当者を通じ、ご連絡します。

3、第20回東海ブロック「女性の集い in ぎふ」研修会中止のお知らせ

東海ブロック女性部は、第20回東海ブロック「女性の集い in ぎふ」研修会の開催について、8月1日に役員と協議しました。

ここにきて、コロナ感染者が増加しつつあります。ブロックとなると県をまたぐこととなります。

会員の安全、安心を考慮して、研修会を中止としました。

～問い合わせ先～

ご意見、ご要望などありましたら事務局までお知らせください。

事務局長：佐藤 緑（茨城県）  
F A X：03-3889-1031  
Eメール：[tori72520@gmail.com](mailto:tori72520@gmail.com)

～編集後記～

東京五輪が終わり、パラリンピックが始まります。今年もお盆に家族と会えなかった方、コロナワクチンの接種をされた方、様々な夏を過ごされたことでしょう。皆様のご無事と、コロナウイルス退散を心よりお祈り申し上げます。